

# ときわの風

2010.1.29

vol.10

■発行：常磐大学同窓会  
 ■編集：常磐大学同窓会事務局  
 水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）  
 電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

## 当日のプログラム

14:30 ~15:15	ミニコンサート (H棟) (1)「ブーケ・ド・ソーン」 (高等学校卒業生有志の会)	
	ピアノ独奏 永田 裕美子	バラード 第3番 ショパン作曲
	ソプラノ独唱 砂押 亜希子 ピアノ 小沼 美知	春よ ティリンデルリ作曲 オペラ「ラ・ボエーム」 より 「私が街を歩くとき」 ブッチーニ作曲
	フルート独奏 桑名 奈津子 ピアノ 石橋 衣里	フルート協奏曲 第2・3楽章 イーベル作曲
	(2)「竹中治利先生・鎌形由貴乃先生」 (短期大学旧・現教員)	
	ソプラノ独唱 鎌形 由貴乃 ピアノ 大湊 浩美	喜歌劇「こもり」より 「アデーレの Aria」 ヨハン・シュトラウス作曲
	バリトン独唱 竹中 治利 ピアノ 大湊 浩美	スコットランド民謡 「アメージング・グレイス」 作曲者不詳
	二重唱 竹中 治利 鎌形 由貴乃 ピアノ 大湊 浩美	歌劇「ボギーとベス」より 「愛の二重唱」 ガーシュイン作曲
	15:30 ~17:00	
	懇親会 (L棟) ・開会 ・理事長挨拶 ・連合同窓会会長挨拶 ・乾杯 ・自由歓談・交流 ※パーティー料理は人間科学部健康栄養学科 学生考案メニュー ・「常磐のあゆみ」DVD鑑賞 ・TOKIWA おんぶの会演奏 (常磐大学・常磐短期大学吹奏楽団 OB・OG 会) ・全校校歌斉唱 (伴奏/TOKIWA おんぶの会) ・写真撮影 ・閉会	



司会を務めた  
奥山幸恵さん

2009年11月22日(日)、常磐大学見和キャンパスにおいて、学校法人常磐大学の設置する学校の卒業生を対象としたホームカミングデーが開催されました。常磐大学の卒業生110名に加え、高等学校卒業生60名、短期大学卒業生138名、大学院修了生3名、同伴の方9名、教職員53名の計



373名が参加。当日の司会には、奥山幸恵さん(1998年度人間科学部卒)が務められました。



理事長挨拶



ミニコンサート



TOKIWA おんぶの会による演奏

## 学校法人常磐大学開学100周年記念事業 ホームカミングデー開催

ミニコンサートでは、高等学校卒業生有志の会である「ブーケ・ド・ソーン」の方々と、短期大学教員の竹中先生、鎌形先生による演奏が披露されました。演奏者の方々の素晴らしい音色や歌声に聴き入り、豊かな

時間を過ごすことができました。コンサートの後は会場をL棟に移して、懇親会が行われました。諸澤英道理事長より「これからの100年に向け、『世界的視野で考え、行動できる人間を育てる。』という新しい教育理念を掲げました。これからは具体的な施策を進めていくので、今後ともご支援を賜りたい。」と挨拶がありました。続いて、連合同窓会会長であり短期大学の同窓会会長でもある中崎啓子様よりご挨拶があり、高等学校の同窓会会長の小林三千代様のご挨拶に引き続き、懇親会がスタートしました。

自由に歓談に入ると、参加者が思い

思いに学生時代の思い出や日頃の思いを話しながら、懐かしい映像や写真を見て、卒業生・教職員とも再会を喜び、親交を深めました。

懇親会中は常磐大学・常磐短期大学吹奏楽団OB・OG会の「TOKIWA おんぶの会」の方々による演奏会も開催され、会場は大いに盛り上がりました。最後に、常磐大学同窓会池田正則会長の三本締めにより、盛会のうちに閉会しました。

懇親会場には、校舎の写真や卒業アルバムが展示され、青春時代を

振り返ることができました。また、タイムボストが設けられ、常磐時代の私"10年後の自分(家族)"へ



参加者でにぎわう懇親会場

を預け、10年後に開封するという企画も実施されました。

## COMMENT

参加者の方から、ホームカミングデーの感想や大学時代の思い出などについてコメントをいただきました。その一部をご紹介します。(順不同)

- 人間科学部人間関係学専攻 1986年度卒 池田 正則さん  
学生時代は、ハンダグライダーやバイクに夢中の不良でした(笑)。今では息子の野球応援が楽しみです。
- 人間科学部組織管理学科 1997年度卒 矢吹 剛顕さん  
今後も200周年に向けて、頑張ってください。
- 人間科学部組織管理学科 1997年度卒 吉岡 哲彦さん  
100周年おめでとつございます。久々に旧友に会えて楽しかったです。
- 人間科学部人間関係学専攻 1998年度卒 門馬 達也さん  
明治42年に開学し今年で100周年。改めて歴史の重さを感じる。これからも変わらぬ教育への歩みを続け、次の100年を目指し、常磐の輪を広げて行って欲しい。
- 人間科学部コミュニケーション学科 2002年度卒 新堀 雄一さん  
当時の知人には会えなかったが、恩師に会えて嬉しかった。先生と連絡先の交換もできました。
- 国際学部国際協力学科 2000年度卒 佐藤 千代志さん  
大学時代の思い出としては、友人と行った学園祭のGLAYのコンサートが印象に残っています。今日は、オペラの方の歌唱力がとてもすばらしく圧巻でした。
- 人間科学部人間関係学専攻 2006年度卒 土田 翔之さん  
みんなで同窓会のように集まることのできる良い機会だった。卒業したばかりだが、社会人を経験してから大学に戻ってくると学生時代の思い出が溢れて来るとても有意義な会だった。先生方も会えて大変嬉しかった。
- 人間科学部コミュニケーション学科 2007年度卒 添泉 敦子さん  
姉は組織管理学科を卒業し、妹は現在コミュニケーション学科に在学している。なので、姉妹揃って常磐です。ゼミの西澤弘行先生とお話できてよかったです。現在妹のゼミを担当されている森弘一先生にも会えてよかったです。

# 2009年度 体育会活動報告(春季)

## 硬式野球部

部長：千葉 敦先生  
部員数：52名

○関甲新学生野球春季リーグ1部  
(3部中1部)

- 常磐大学 4-0 作新学院大学
- 常磐大学 6-1 作新学院大学
- 常磐大学 2-3 白鷗大学
- 常磐大学 5-9 白鷗大学
- 常磐大学 1-2 平成国際大学
- 常磐大学 1-3 平成国際大学
- 常磐大学 0-2 山梨学院大学
- 常磐大学 0-8 山梨学院大学
- 常磐大学 2-1 上武大学
- 常磐大学 6-5 上武大学
- 1部リーグ 4勝6敗 5位
- 1部残留

## 剣道部

部長：小澤 聡先生  
部員数：26名

○関東学生剣道選手権大会  
男子5部(6部中5部)

- 常磐大学 2-3 大正大学
- 常磐大学 1-4 千葉工業大学

## バドミントン部

部長：粕谷 雄二先生  
部員数：16名

○第41回 関東女子学生剣道選手権大会

- 小沼 三回戦進出
- 伊藤 一回戦敗退
- 坂本 一回戦敗退
- 丸山 一回戦敗退
- 嶋岡 一回戦敗退
- 石川 一回戦進出

○第55回 関東学生剣道選手権大会

- 安田 一回戦敗退
- 柴田 二回戦進出
- 高橋 敗者復活戦敗退
- 枝元 三回戦進出

- 常磐大学 2-3 武蔵野大学
- 常磐大学 1-4 首都大学東京
- 常磐大学 3-2 防衛大学
- ◆1勝4敗 5部残留

○関東学生バドミントン秋季リーグ

- 女子5部(6部中5部)
- 常磐大学 0-5 国士館大学
- 常磐大学 0-4 明星大学
- 常磐大学 3-2 浦和大学
- 常磐大学 1-4 白鷗大学
- 常磐大学 1-4 横浜国立大学
- ◆1勝4敗 5部残留

○関東学生バドミントン選手権大会

- △男子シングルス
- 西脇 ベスト32(Bブロック)
- 渡部 一回戦進出
- △男子ダブルス
- 西脇・渡部 二回戦進出
- 佐々木・岩淵 一回戦敗退
- 白井・織本 二回戦進出
- △女子シングルス
- 上松 一回戦敗退
- 大沢 一回戦敗退
- 川上 一回戦敗退

- 山本 一回戦敗退
- △女子ダブルス
- 上松・川上 二回戦進出
- 山本・仲江 二回戦進出

## 弓道部

部長：佐藤 環先生  
部員数：21名

○第40回全関東学生弓道選手権大会  
△男子個人戦

- 山田 三回戦進出
- 川津 一回戦敗退
- 舛井 一回戦敗退

※上記4部以外にも体育会各部活動しています。応援よろしくお祈りします。

## ご結婚された方

- 小林 秀樹さん「人間科学部18期」
- 清水 正典さん「人間科学部18期」
- 清水 玲子さん「人間科学部17期」  
(旧姓 飯村)

## MESSAGE 希望羽ばたく姫ヶ丘

早いもので私が常磐大学に奉職して10年が過ぎました。当初、人間科学部組織管理学科にいましたが、今はその学科はありません。その後、現代社会学科組織管理学科として残りしましたが、2006年、行政系の先生はコミュニティ振興学部に来た地域政策学科に所属し、翌年には企業系の先生が国際学部に来た経営学科に移り、組織管理学科はその名称とともに役目を終えました。

ところで、私は、その新設学科の地域政策学科で主任を2年、学科長を2年近く務めています。定員60名に対し39人から出発し、ずいぶん周りに心配をかけました。翌年も41人でした。学科会議では、なにが原因でこういう事態を

招いたのか、今、何をしなければならぬのかを何度も話し合いました。単純ですが、「いい授業をやろう!」「学生を大切にしよう!」そして「学生たちに真摯に向き合えば評価される!」「それでよい!」と構えることにしました。そして、今年度は68名です。

最近、地方の時代と強く叫ばれています。大学も地域貢献が強く求められています。コミュニティ振興学部にて気づいたことはその地域貢献に実務的に関わっている先生が多いことです。そして、私もいつの間にか、県や市町村、または財団やNPOなどの仕事に不慣れながらも関わっています。地方の仕事は、実務的で、現場の問題解決が求められます。地域政

策学科は、実に、タイムリーな学科でした。さて、徒然草ではありませんが、数十年たってみれば、もったった建物はなく、もったいた人はなく、もったった景色もなくなっているかもしれません。私も同期の先生4人のうち2人は他大学に移りました。古来の先生方もいなくなり私もそこに近づいています。大学は、10年前は、雑木林の中の空間というイメージでした。今は、建物も増え、なにより、美しい庭園があります。そして、森があり構内が高い樹木に包まれています。も

とあった学科は今もなく、知らない学科の名前をみて時に寂しく思うかもしれません。でも、そんな



コミュニティ振興学部教授 地域政策学科長

林 寛一 先生

明治大学大学院政治経済学研究科博士課程単位取得満期退学。専門：政治社会学、政治過程論。

中、変わらぬものもあります。最近、市役所に勤めている教え子がきて、「先輩に入ってきて欲しい」といつてくれました。母校愛ですね。いろいろ変わっても、ここ姫ヶ丘に学舎があり、それが1世紀をまたいだ伝統を引きつぐ英知であるということに変わりはないのです。変わらぬもの、そしてつながらる希望として「同窓会」が羽ばたいていくことを願ってやみません。

## 学校法人常磐大学 開学100周年記念式典挙行!

2009年11月22日(日) 水戸プラザホテルにおいて、学校法人常磐大学開学100周年記念式典が挙行されました。

記念式典には、国、県、市それぞれの議員を始め、県内外の大学、短期大学等の学校関係者、現旧教職員、卒業生、在校生の代表者ら、約400名が参列しました。

記念式典式辞において、諸澤英道理事長から、「各関係機関の方をはじめ、この100年を支えた旧教職員や、卒業生などにも参列していただき、多くの方々の支えにより今日まで発展してきたことに改めて気がつき、感激しています。学校法人常磐大学の創立者諸澤みよの教育は「授業を通じた人間教育」であり、今日まで脈々と受け継がれています。今日の教育は、「知識」を与えることから「考える力」を養成することに変わりましたが、「考える力」は、時間をかけて養成されるものであるの

で、私学の強みを最大限に活かして、理想的な一貫教育を行ってほしい」とのお話がありました。また開学100周年を機に、これまでの教育理念「自立」「創造」「真摯」に基づき、新教育理念「世界的視野で考え、行動できる人間を育てる。」を策定したこと、開学100周年記念事業として、在籍中の学生生徒で経済的事由により学業の継続が困難となった者に対し、奨学金を給付することによ

り、公平な修学機会を提供し、有為な人材の育成に資するため「諸澤幸雄奨学金制度」を創設したことが報告されました。

「諸澤幸雄奨学金制度」創設のきっかけとなったエピソードとして、約60年前に高等学校を卒業した方から手紙をいただいたこと、その手紙には、貧しいときに奨学金によって教育を受けることができたこと、そのときの恩返しをしたいことが記されており、手紙には、多額の寄付が添えられていたことが紹介されました。

学校法人は、寄附行為により教育を行っており、本学では、今回初めての試みとなるが、学校が主体となり、寄付を募り、それを原資にこの「諸澤幸雄奨学金制度」を運用していきたいとの説明があり、本制度への理解と協力のお願いがありました。

式典終了後は、記念演奏会、祝賀会が開かれ、盛会のうちに終わりました。



## \* 編集後記 \*

この会報が発刊されるときには、年が明け、2010年となっていることだろう。大学を卒業してからスキーを始めたり、釣りを本格的に始めたりしたもの、これといった目標を立てずに過ごしてきた。そのせいもあり、私生活には、これといった変化もなく、気がつけば30

歳。そして趣味ばかりに休日を費やすもの、その趣味は、まったく上達していない。同期卒業の皆さんはすでに結婚したり、新しい何かに取り組みだりして大きく成長をされていることと思う。そう思うと「何かを変化させよう。」と思うものの、「何か」が分からない。なので2010年は、その「何か」を探してみます。(久松)